



2023年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年7月12日

上場会社名 株式会社グッピーズ 上場取引所 東
 コード番号 5127 URL <http://www.guppy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 肥田 義光
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 清水 瞬 (TEL) 03-5908-3880
 四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第3四半期の業績(2022年9月1日~2023年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	1,799	31.5	584	52.7	582	52.2	393	54.6
2022年8月期第3四半期	1,368	—	382	—	382	—	254	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年8月期第3四半期	113.38		105.65					
2022年8月期第3四半期	84.80		—					

- (注) 1. 当社株式は、2022年9月30日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2022年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
2. 2021年8月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2022年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
3. 当社は、2022年9月30日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、当第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から当第3四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第3四半期	2,728	2,020	74.0
2022年8月期	1,509	832	55.2

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 2,020百万円 2022年8月期 832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年8月期	—	0.00	—	—	—
2023年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年8月期の業績予想(2022年9月1日~2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,355	27.3	603	28.3	601	24.0	420	23.0	121.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年8月期3Q	3,627,300株	2022年8月期	3,000,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年8月期3Q	26株	2022年8月期	—株
------------	-----	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年8月期3Q	3,469,520株	2022年8月期3Q	3,000,000株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2023年5月8日から「5類感染症」に変更され、今後の経済活動活性化への動きがみられた一方で、ロシア・ウクライナ情勢による地政学リスクや原材料価格の高騰、世界的な金融資本市場の変動の影響、円安の進行や物価上昇等により、先行きが不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中においても、当社の注力市場である医療・介護・福祉分野におきましては、依然として人手不足が大きな課題になっており、厚生労働省が発表した2023年度5月の有効求人倍率は、医療業界が2.11倍と全職業合計の有効求人倍率1.21倍を大きく上回っております。

当社では医療・介護・福祉分野の医療従事者の不足や偏在、また、介護事業者・介護従事者の不足を解消するため、医療提供機関、医療従事者の良きパートナーとなり、人材サービスをベースにした経営サポートを行うなど、新たなサービスの開発にも取り組んでまいりました。

この結果、売上高は1,799,866千円（前年同期比31.5%増）、営業利益は584,771千円（前年同期比52.7%増）、経常利益は582,309千円（前年同期比52.2%増）となり、四半期純利益は393,385千円（前年同期比54.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 人材サービス事業

人材サービス事業では、医療・介護・福祉業界における主に有資格者に対応した求人サイト「GUPPY」において、中途転職者については求人広告事業、就職新卒者については国家試験過去問アプリの提供、求人広告、就職情報誌、また求職者全体への就職合同説明会などを展開し、国家試験対策から就職活動、転職までのサポートを提供しております。

当第3四半期会計期間においては、医療・介護・福祉業界に特化した求人サイト「GUPPY」において、閲覧課金利用者へのお祝い金導入等のフォロー体制強化を行い、求人者及び求職者の満足度向上に努めました。

以上の結果、売上高は1,651,368千円（前年同期比37.2%増）、セグメント利益は815,697千円（前年同期比45.3%増）となりました。

② ヘルスケア事業

ヘルスケア事業では、スマートフォンによる健康アプリ「グッピー ヘルスケア」を企業、自治体及び健康保険組合向けに提供しております。

当第3四半期会計期間においては、新規利用法人の獲得に加え、株式会社栗原医療器械店を通じて、群馬県太田市及びプロバスケットボールチームの群馬クレインサンダーズとウォークラリーイベントを開催し、地域活性化に努めました。

以上の結果、売上高は148,497千円（前年同期比9.9%減）、セグメント損失は42,181千円（前年同四半期は35,114千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は2,512,680千円と前事業年度末比1,171,904千円増加しました。これは主に四半期純利益の計上及び増資に伴う現金及び預金1,119,553千円の増加によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産は215,723千円と前事業年度末比47,094千円増加しました。これは主にスマートフォンによる健康アプリ「グッピーヘルスケア」の追加開発及び歯科医院の検索&予約サービス「歯科医院の窓口」の開発等に伴うソフトウェア46,631千円の増加、オフィス増床に伴う敷金14,646千円の増加及び繰延税金資産11,837千円の減少によるものであります。

以上の結果、当第3四半期会計期間末の総資産は2,728,403千円となり、前事業年度末比1,218,998千円増加しました。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は682,634千円と前事業年度末比31,749千円増加しました。これは主に決算賞与が支払われたこと等に伴う未払費用41,306千円の減少、未払消費税等28,441千円の増加及び閲覧課金サービスのお祝い金支給に伴う褒賞費用引当金34,650千円の増加によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債は25,405千円と前事業年度末比449千円減少しました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の振替による長期借入金1,854千円の減少、健康ポイント引当金2,160千円の増加及びリース債務797千円の減少によるものであります。

以上の結果、当第3四半期会計期間末の負債合計は708,039千円となり、前事業年度末比31,299千円増加しました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は2,020,364千円と前事業年度末比1,187,698千円増加しました。これは主に増資に伴う資本金397,190千円の増加、資本剰余金397,190千円の増加、繰越利益剰余金393,385千円の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月11日に公表した2023年8月期業績予想値に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,111,370	2,230,923
売掛金	209,418	261,227
貯蔵品	6,395	3,177
その他	13,720	17,924
貸倒引当金	△128	△572
流動資産合計	1,340,775	2,512,680
固定資産		
有形固定資産	54,352	51,810
無形固定資産	10,352	56,984
投資その他の資産	103,923	106,928
固定資産合計	168,628	215,723
資産合計	1,509,404	2,728,403

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	16,710	4,713
未払法人税等	84,393	110,616
契約負債	310,452	323,886
賞与引当金	10,241	12,602
褒賞費用引当金	12,441	47,092
その他	216,645	183,723
流動負債合計	650,884	682,634
固定負債		
長期借入金	1,854	—
健康ポイント引当金	4,771	6,932
資産除去債務	14,540	14,581
リース債務	4,688	3,891
固定負債合計	25,854	25,405
負債合計	676,739	708,039
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	427,190
資本剰余金	—	397,190
利益剰余金	802,665	1,196,050
自己株式	—	△67
株主資本合計	832,665	2,020,364
純資産合計	832,665	2,020,364
負債純資産合計	1,509,404	2,728,403

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
売上高	1,368,586	1,799,866
売上原価	89,862	106,279
売上総利益	1,278,724	1,693,586
販売費及び一般管理費	895,741	1,108,814
営業利益	382,982	584,771
営業外収益		
受取利息配当金	3	8
受取戻金	392	257
雑収入	3	1
営業外収益合計	399	267
営業外費用		
支払利息	620	644
固定資産除却損	207	338
株式交付費	—	1,746
営業外費用合計	827	2,729
経常利益	382,554	582,309
税引前四半期純利益	382,554	582,309
法人税、住民税及び事業税	98,515	177,086
法人税等調整額	29,633	11,837
法人税等合計	128,149	188,924
四半期純利益	254,405	393,385

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年9月30日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2022年9月29日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式）増資による新株式363,000株の発行により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ258,819千円増加しております。また、2022年11月2日を払込期日とする有償第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式166,300株の発行により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ118,571千円増加しております。さらに、ストック・オプションとしての新株予約権の権利行使により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ19,800千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が427,190千円、資本剰余金が397,190千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	人材サービス事業	ヘルスケア事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,203,722	164,864	1,368,586	—	1,368,586
外部顧客への売上高	1,203,722	164,864	1,368,586	—	1,368,586
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,203,722	164,864	1,368,586	—	1,368,586
セグメント利益又は損失(△)	561,299	△35,114	526,185	△143,202	382,982

(注) 1. セグメント利益の調整額△143,202千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	人材サービス事業	ヘルスケア事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,651,368	148,497	1,799,866	—	1,799,866
外部顧客への売上高	1,651,368	148,497	1,799,866	—	1,799,866
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,651,368	148,497	1,799,866	—	1,799,866
セグメント利益又は損失(△)	815,697	△42,181	773,515	△188,744	584,771

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△188,744千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期財務諸表の営業利益と調整を行っております。